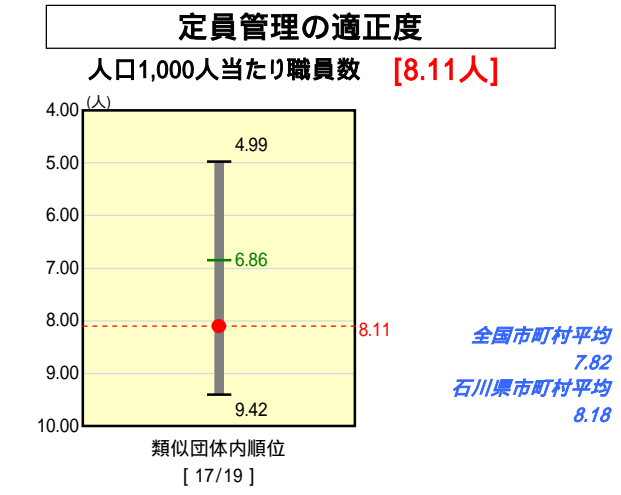
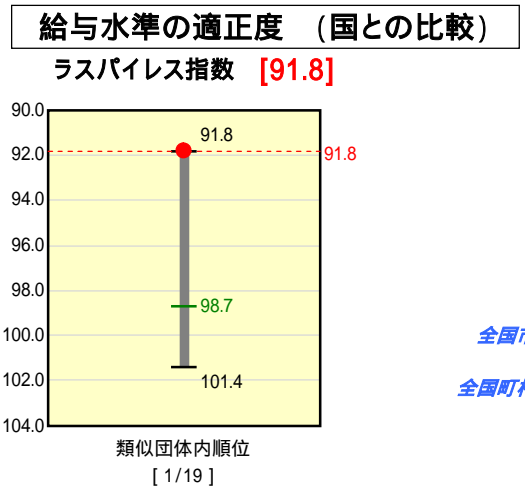
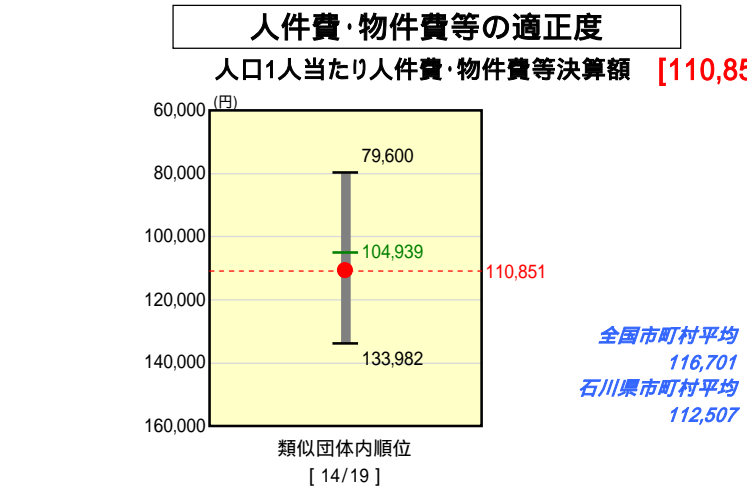
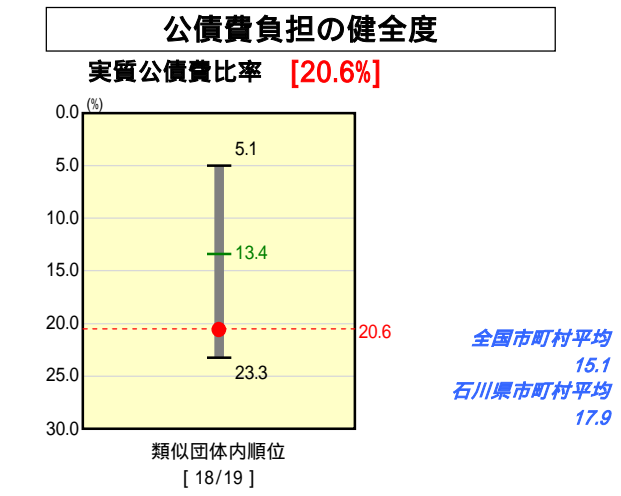
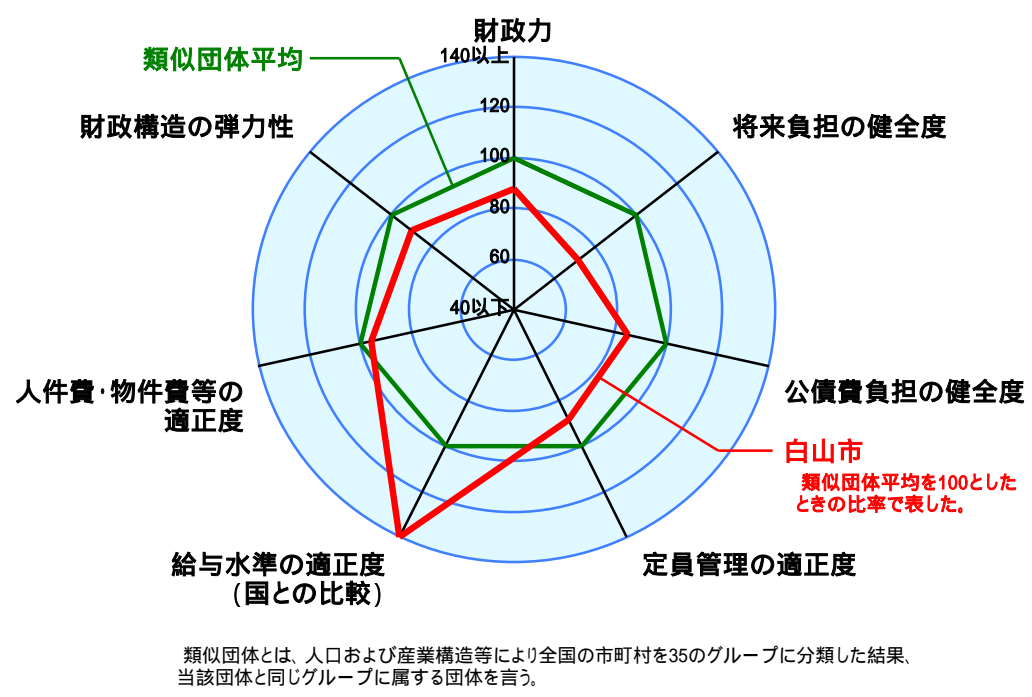
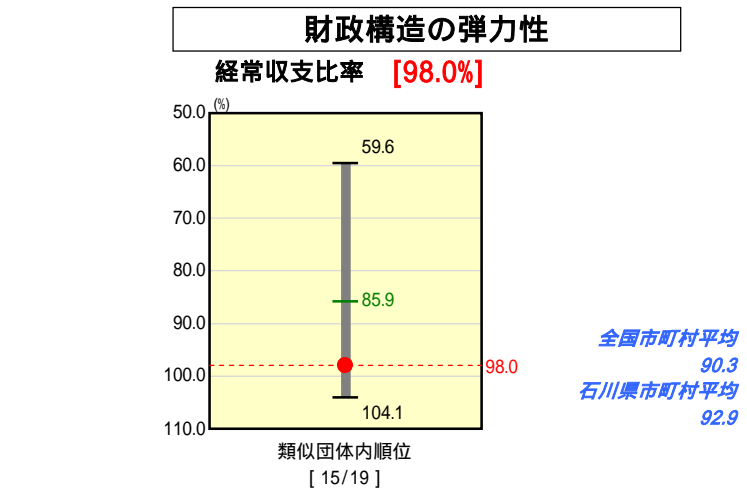
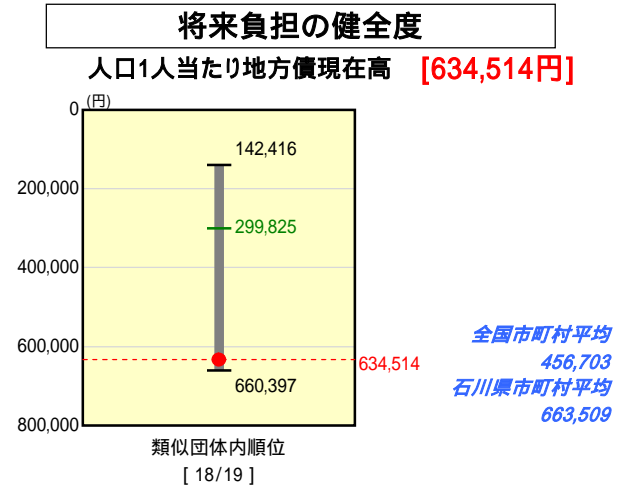
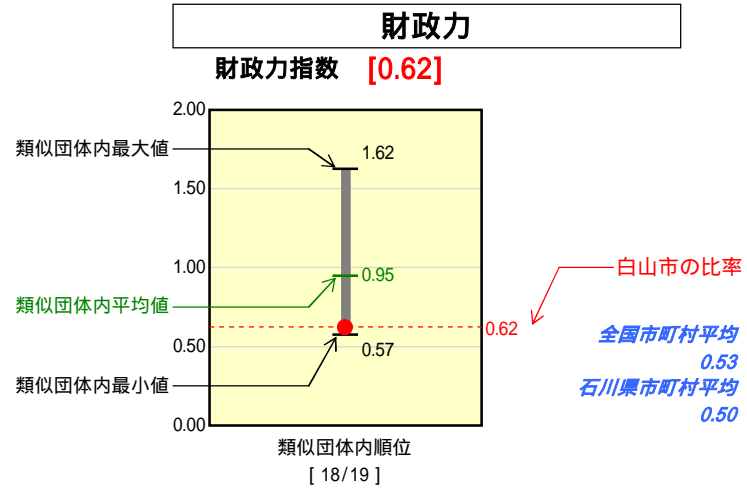


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

石川県 白山市

人口	112,829人	人(H19.3.31現在)
面積	755.17 km ²	
歳入総額	49,029,480千円	
歳出総額	47,778,122千円	
実質収支	1,131,877千円	



分析欄

【財政力指数】
市税が増収したため、指数は改善されたが、今後とも財政基盤の強化に取り組む必要がある。税源移譲など制度改正の的確な対応と新工業団地の整備をはじめ商工観光産業の振興など自主財源の確保を図る。

【経常収支比率】
義務的経費のうち人件費は抑制傾向にあるが、扶助費、公債費が伸びている。とくに公債費は高い水準で推移し、今後は低利での借換や、繰上償還など公債費の抑制に努める。

【ラスパイレズ指数】
合併にともなう職員給与の格差があり、類似団体では最低ランクである。給与格差の是正は、段階的に調整を進めるものだが、年功的な給与上昇の抑制や職務・職責に応じた給与体系への転換を図る。

【実質公債費比率】
合併後も教育施設や都市基盤の整備など、住民ニーズの高い建設事業を継続しているため、新発債は合併特例債などを有効活用し、中期財政計画に基づき事業の取捨選択を行う。
【人口1人当たり地方債残高】
類似団体平均に比較して、地方債残高は2倍以上となっている。行政改革による歳出削減を進めるとともに、事業費の平準化を図り、世代間の負担の公平化と地方債残高の減少に取り組む。
【人口1,000人当たり職員数】
定員管理については行政改革集中プランにおける削減目標の着実な達成に取り組む。
平成22年4月1日までに63人、6.0%以上を削減し、980人とする。
【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
合併のため多数の公共施設があり、また老朽施設も多く、維持管理費や修繕費が高む傾向にある。早急に公共施設の統廃合に取り組む必要がある。